

「労働力の売買について」

九大助教授 近江谷左馬之助

（32）

労働力の売買について

近江谷左馬之助 教授 九大助教

労働者階級の生活状態は、資本の蓄積が進むにつれてどのように變つてゐる、といふ問題は経済学のいわゆる重要な論題のひとつとなりてゐる。「資本論」第一巻第七編第11章「資本蓄積の一一般法則」と題する所の如く、アーヴィングの無なりこと論及びハーリーの今日でもなおやむる「蓄積法則」の問題がこの点に關する重要な議論がなされてゐる。ところが「法則」が一般的なものでないことは論外のことである。

ハーリーの「法則」がアーヴィングの理由をもつてゐないのは、結論を資本家と労働者との階級關係が今日の社會の軸をなし得ることのないところである。今日では、生產の實際の担當者は労働者であるが、それどもの生産物は労働者のものとみなされ、實際には生產をおこなわざる資本家のものである。今日の社會では、労働力が労働者の生産を可視せしめないので、機械や工具と同様に機械や工具とともに生產過程で消費せられ、その結果、生産物が生產せられるのである。資本家は機械や工具をなしして代價を支払つたいたい、労働力をなしして代價を支払つたいたい、勞働者を生産したからと云ふればこれきどのように取扱われるが、資本家は機械を採用して、直ちにそれが生産額たる労働力を機械と同じく資本家の所有物であるから、資本家の立場からすれば、これが何事かと云ふべきである。労働者が生産物を生産したからと云ふことは、生産力が増進し、資本の蓄積が進行するのであり、企業家の投出された労働者の数より原資金の割合が少ないのであるが、一増大したことである。

ハーリーが資本蓄積をいつては、生産性を向上させたり利潤を大きめていたためには、労働者を「販賣」しておいたためには、労働者を「販賣」しておいたのである。この問題は、資本家と労働者との階級關係を根柢したものである。



これが岸内閣

いとも田畠だといふのである。労働者が生産物を生產したからといふにしても、資本家の立場からすれば、自分の生産過程たる労働力を機械化や廃止してしまはれてしまつてはならないのであるから、生産過程をよそに、いや自分の中のものだと見いだすのである。

近江谷左馬之助

労働者階級の生活状態は、資本の蓄積が進むにつれてどのよくなりつつあるが、その問題は経済学の上で重要な論題のひとつになると云ふ。「資本論」第一卷第七篇第113章「資本的蓄積の一一般法則」と題する所の事だ。ケルクベのない所はついてて論及していく。そこで今日やむべからぬ「躍進法則」の問題としてこれまでいついめおもまな議論がなされていく。このうちの「法則」がい

七月十四日イラク人民は特赦グループを中心とした連盟、ナーセル連盟（アラブ民族連合）が中心となり、ナーセル連盟を首班に成立した新政府は、ただちにバグダード（アラブリヤ）との友好を宣言するなど、イラク人民はいままでアラブ民族連合の記念すべき歴史的な日を立ち立たせた。

米英の侵略に世論わく

じと共和国を宣言した。カセム准アラブ連合共和国（エジプト・シクサリをたちまつ）イラク人民、

米国のアガキだ

立上つたイラク
米英の侵略に
ソ連撤兵を決議

七月十四日イラク人民は将校グループを中心とした暴動が起り、王室を掌握した新政府は、ただちにバグダード条約からの脱退、アラブ民族との記録すべて歴史的記述を抹消するなど、イラク人民はじきよびの奴隸のアラブ民族として記録すべく歴史的記述を抹消するなどして立ちあつた。

イラク新政府はだいじと労働者、労働組合、一般官吏、教師、学生の諸団体から數千人の争議がよせられ、イラク人民の勝利のよせびをしめしており、新政府との団結を強調している。

イラクは石油の国だが、この資源は英米仏オランダの資本によって、イラク国民とアラブ諸国の国民生活改善には少しも利用されない現状だった。

このイラクの豊富でシロシタをうけたのは米英などの植民主義者たちで、アメリカは翌十五日、ついでレバノンに海兵隊を上陸させ公然としてアラブ人民にだらする武力

学習はじめかる

中興・船上情宣も危険に

中興・船上情宣を危険に
九族労の三十円カンバの決定など
中興労組の闘いは成労会体の闘い
へ發展して来た。中興の対策委員會
として現地で活動している松浦
部長なり、さうきぐの奮闘をつき
のよに知りせられた。
法は、あるといど効果があ
ります。

卷之三

くから夜の十一時五分まで
福島駅でござります。三池の七
人格もみな西風で、各社居
されど活動してござります。そ
中略の情況をおおへせしま
口(福島、徳義、鶴の鳴)
三艘の船をおわれましたが
行の船がなかなか入り、無
しました。同日午後九時十分
島側の愛山町志会十二名が
上陸し、江口鉱の組合事務
で詰合ひをしましたが、結
ず午後十一時三十分開場でござ
ました。

中興・船上情宣も危険に
九歳弟の三十カ月の決定など
中國労組の頭には疲劳全体の間に
へ發展してゐた。中興の対策委員會
として現地で活動してゐるのは經濟
部長なり、わざきとの階級統一の物
のよどぎ無いせいである。

× × ×

私が中国の対策委員會として毎日
朝はやべから夜の十一時まではおで
きまで福岡であります。三泊の七
名のオルグもみな大阪で、各社に
に派遣されて活動してゐます。そ
の日の午後は豊洲を出でてしま
す。

中興(福岡、熊谷、横浜)の事
ではあるが、ふね上陸で来るか
ん。現地船上にてマイク開通をな
くなつてあります。わざきと船主
よりの連絡を過密を避けるために
なりました。金組会員はないの情宣
のほかだ、あいさつ用川口より手紙を
毎日だしてらあ。この連絡の方

法は、あるいはどう効果があ
ります。

それとまた、乗船場でどう
してもまだ、毎日は闇で運
ぶるなりでござり、おひき
でごめん。

四月、慶生会の船一日をた
て運賃を取られたが、
三隻の船をおれましたので
止の船がなかなか来り、無
し承りました。四月午後九時半十一名が
臺灣の愛山同志会士十一名が
上陸し、江口の組合事務所
で詰合になつましたが、結
て午後十一時三十分に立揚げ
江口ではまだ水の渦潮が強
いもした。各地域へどう運搬
しあが、料金は(元)一千圓
船主行為(2)中小の組合事務所
問題(3)料金問題の経験記録を
(4)三泊旅費支度成りあ
(5)新光社園野の黒板記録を

元氣でスクラムを組む江口鉱の主婦
藩から詰
じの遺体
じつひま
口で出迎
す。
す。アメリカ
在日米監制
入りまし
て。アメリカ
藩をして
か。威懾など
そしてその結果
相は「アメリ
やめるべきを連
連では「アメリ
は正道だ」と
賛成していく
り方軍は撤退
干渉するな、
めるのはソ連
叫んでいます
ソ連は、開
りません。他
帰さねばなり
の力はその
よ。中央は
和運動を立
急のことで
私はそのた
大会に回つて

歐陣營のなかで、
て行きつゝあるので、
世界の戦（港務）
つねに戰爭政策を
と資本家から日本
メリカ政府が、井
して抵抗にあつて、
策をとらなければ
アメリカの悲劇が
してくると思う。ほ
然たたるものなけれ
どくいものを作り出
してくるのを、まことに
いのを、まさにま
た。ときの権力が大
しないことがな
民族独立運動を起
じれば、世界を
無視して封殺しよ
かの行動に慣れよ
した態度を打ち出
族独立運動を推進
ねばならぬ。へ
が侵入したといふ
ある。

労働者の感覚で消火を
港務 一組合員
われわれは対岸の火事とは若手
られない。それに革命ができたと
いうことは、いまの情勢では本領
性があるかどうか問題があつたが、
イラクが資本主義国家との懸念と
なつてゐるのは事実だ。
アメリカの介へはあせりのアガ
キだらう。国内問題として処理す
るものであり外国の介へはやめ
あらひほかない。あらゆる平和
の世論の結果によりて阻止しなけ
ればならぬと語る。とにかく経評
の抗議はいた早くおこなわれたが、
時空をそぞろと語る。これは日本
の政治的運動の高齢者をしめす
ものだと感じてゐる。両陣営の感
覚で消化しなければならないだ
い。